

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医薬品等産業振興費	担当部局庁	医政局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和27年度～	担当課室	経済課	課長:鎌田光明			
会計区分	一般会計	施策名	IV-1-6 新医薬品・医療機器の創出等を促進するとともに、医薬品・医療機器産業の振興を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	①厚生労働省設置法第4条第16項、厚生労働省組織令第38条第1,2項 ②薬事工業生産動態統計調査規則、統計法、統計法施行令	関係する計画、通知等	・「医療用医薬品の流通改善について(緊急提言)」(平成19年10月10日医政発第1010001号) ・医療・介護の質向上・効率化プログラム(平成19年5月) ・「医療用医薬品へのバーコード表示の実施について」(平成18年9月15日付薬食安発第0915001号) ・「医療機器等へのバーコード表示の実施について」(平成20年3月28日医政経発第038001号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医薬品産業・医療機器産業に関する諸情報の収集・分析及び総合的な調査研究を行い、積極的に産業政策の企画立案に取り入れていく。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	別添参照						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	194	218	175	191	
		補正予算					
		繰越し等					
		計	194	218	175	191	
	執行額	129	139	144			
執行率(%)	66.5%	63.8%	82.3%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	医薬品・医療機器産業実態調査の実施回数	成果実績		1	1	1	1
		達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	医薬品・医療機器産業実態調査の回答率	活動実績		75	75	70	—
		(当初見込み)		80	(80)	(80)	(80)
単位当たりコスト	2.3百万/回	算出根拠	平成23年度執行額/平成23年度実施回数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	2	3	医薬品・医療機器産業情報確保対策事業の増			
	職員旅費	3	5	必須医療機器等の安定供給確保対策費の増			
	委員等旅費	1	4	後発医薬品使用促進対策費の増			
	庁費	4	10				
	医薬品審査等業務庁費	39	42				
	薬事経済調査委託費	103	131				
	薬事工業生産動態統計調査委託費	39	39				
計	191	234					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品、医療機器の製造販売業、製造業及び卸売業の経営実態等を把握し、医薬品及び医療機器産業の健全な発展に必要な施策を講ずるための基礎資料を得るために必要な事業である。 ・医薬品及び医療機器産業の健全な発展に必要な施策を講ずるための基礎資料を得るという調査の趣旨等から国で実施すべき事業である。 ・不用額については、理由を把握するように努めている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・一般競争入札等を行うことにより競争性を確保している。 ・事業の実施にあたって、単位あたりのコストの削減に努めている。 ・本事業の実施にあたっては、事前に契約内容を示し、受益者の負担が過度にならないように取り組んでいる。 ・事業に必要なものに限定された執行を行っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・目的を達成するため客体の見直しをするなど、調査の効率化、精度向上に努めている。 ・適切な成果目標を立て、着実に達成している。 ・活動実績は、概ね見込みどおりとなっている。 ・調査によって得たデータは「新医薬品産業ビジョン」の策定等、施策の基礎資料として活用されている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>医薬品・医療機器産業実態調査に係る予算要求については、不用額が増大することがないように近年の調査対象客対数に基づいた要求を行っており、今後も引き続き、研究開発状況等の医薬品産業界及び医療機器産業界の動向を把握し、健全な発展に必要な施策を講ずるための基礎資料を得るため、調査の効率化、精度向上に努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>医薬品等産業振興費については、提言型政策仕分けでの提言を踏まえ、実際に薬を利用する医療関係者や患者の理解を得るためのこれまでの取組みをレビューし、さらに実効性の高い取組を行うべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>提言型政策仕分けでの提言を踏まえ、より医療現場に近いレベルで関係者の理解を図るため、市区町村若しくは保健所単位レベルで協議会を設置し、地域住民への働きかけなど地域の実情に応じた取組を強化する。</p>		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	233	平成23年行政事業レビュー	0208

厚生労働省
144百万円
医薬品・医療機器産業に関する実態把握を行い、
更なる振興を進めるための経費

D.事務費
2百万円

〔諸謝金、旅費、人件費、消耗品費等〕

【一般競争】

【随意契約】

A.株式会社等(5)
19百万円

〔報告書等印刷、発送等〕

【随意契約】

B.都道府県(35)
86百万
薬事経済調査委託費(後発品)

各都道府県において医療関係者等を
構成員とする協議会を設置し、後発医
薬品使用促進のための具体的な事業
を検討し、実施

【随意契約】

C.都道府県(47)
37百万
薬事工業生産動態調査委託費

〔医薬品、医薬部外品及び医療機器に
関する毎月の生産(輸入)、出荷及び
在庫の数量及び金額の調査〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	調査研究業務	8			
計		8	計		0
B.福岡県			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	推進事業に係る役務・雑費等	15			
諸謝金	講師謝金	1			
その他	委員等旅費 等	2			
計		18	計		0
C.東京都			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
通信運搬費	推進事業に係る通信運搬費	1			
消耗品費	推進事業に係る消耗品費	1			
調査員手当	推進事業に係る調査員手当	1			
賃金	薬事経済調査に係る賃金	2			
計		5	計		0
D.個人A			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
職員旅費	出張に係る職員旅費	0.2			
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	調査研究業務	8	2	95
2	大和総合印刷(株)	調査票印刷	4.8	随意契約	
3	統計印刷工業(株)	調査票印刷	4	随意契約	
4	(株)イマージュ	調査集計・分析業務	1	随意契約	
5	(有限)友愛書房	書籍	0.5	随意契約	
6	サンリツ印刷工業(株)	医薬品・医療機器産業実態調査報告書印刷	0.4	随意契約	
7	(株)東京ロイヤルホテル 都市センターホテル	検討会会場借上	0.3	随意契約	

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	福岡県	後発医薬品使用対策促進	18	随意契約	
2	滋賀県	後発医薬品使用対策促進	11	随意契約	
3	大分県	後発医薬品使用対策促進	6	随意契約	
4	京都府	後発医薬品使用対策促進	5	随意契約	
5	長崎県	後発医薬品使用対策促進	3	随意契約	
6	兵庫県	後発医薬品使用対策促進	3	随意契約	
7	茨城県	後発医薬品使用対策促進	3	随意契約	
8	宮崎県	後発医薬品使用対策促進	3	随意契約	
9	北海道	後発医薬品使用対策促進	2	随意契約	
10	栃木	後発医薬品使用対策促進	2	随意契約	

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	薬事工業生産動態調査の実施	5	随意契約	
2	埼玉県	薬事工業生産動態調査の実施	2	随意契約	
3	千葉県	薬事工業生産動態調査の実施	2	随意契約	
4	大阪府	薬事工業生産動態調査の実施	2	随意契約	
5	神奈川県	薬事工業生産動態調査の実施	2	随意契約	
6	兵庫県	薬事工業生産動態調査の実施	1	随意契約	
7	静岡県	薬事工業生産動態調査の実施	1	随意契約	
8	愛知県	薬事工業生産動態調査の実施	1	随意契約	
9	茨城県	薬事工業生産動態調査の実施	1	随意契約	
10	富山県	薬事工業生産動態調査の実施	1	随意契約	

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	出張にかかる職員旅費	0.2		
2	個人B	出張にかかる職員旅費	0.1		
3	個人C	出張にかかる職員旅費	0.1		
4	個人D	出張にかかる職員旅費	0.1		
5	個人E	出張にかかる職員旅費	0.1		
6	個人F	出張にかかる職員旅費	0.1		
7	個人G	出張にかかる職員旅費	0.1		
8	個人H	出張にかかる職員旅費	0.1		
9	個人I	出張にかかる職員旅費	0.1		
10	個人J	出張にかかる職員旅費	0.1		

【事業概要】

<p>事業概要</p>	<p>①不適切な取引慣行を改善するために、懇談会を開催し検討を行うとともに、医薬品卸売業者が出席する全国地区会議に出席し流通改善に向けた取組状況の把握・指導等を行うことにより、流通の適正化を図る。 ②「薬事工業生産動態統計」を作成するにあたっての都道府県事務委託費、年報・月報冊子の印刷配布用経費、調査用資材の印刷・購入経費。(システムにかかる経費を除く) ③「医薬品産業実態調査報告書」及び「医療機器産業実態調査報告書」を作成するにあたって、調査票・報告書の印刷用経費、調査対象に対する調査票の発送用経費、報告書作成のための集計用経費。 ④後発医薬品使用促進のため、一般国民向けリーフレットの作成配布及び医療関係者向けのセミナーの開催等を行う。 ⑤各都道府県において、医療関係者等を構成員とする協議会を設置し、国民・医療関係者が安心して後発医薬品を使用できるよう、地域の実情に応じた使用促進のための具体的な事業を検討し、実施する。 ⑥医薬品及び医療機器のコード化に向けた取組は、厚生労働省通知に基づき業界の協力を得ながら推進しているところであり、取組の進捗状況を把握することにより、表示状況を踏まえた普及促進を図る。 ⑦必須医療機器の安定供給を確保するため、医療機器業界向けにアンケート調査及び関係企業等のヒアリングを行い、有事対応を円滑に行うための情報を整理する。</p>
-------------	--